

8月4～6日 原水爆禁止2014年世界大会開かれる



発行所
福山民報社
福山市霞町
3丁目4番地25号
TEL 922-2815
Eメールアドレス
info@f-jcp.com
ホームページアドレス
http://www.fjcp.com/

被爆69年目の原水爆禁止世界大会が開かれました。8月4日から開かれた世界大会は、6日に閉会総会が開かれました。40数年ぶりの雨の閉会総会でした。



今年の原水爆禁止世界大会に、福山市からバスで参加。辻つねお県議、村井あけみ、高木たけし、土屋ともりの市会議員も参加しました。

国連の事務総長代理や海外代表から「来年のNPT再検討会議に向け、署名活動が日本で取り組まれていることに期待する」との声も聞かれました。

また、各地で活動している原水協から、さまざまな取り組みについて報告がされました。

地域原水協で奮闘している青年は、来年、ニューヨークで開かれるNPT再検討会議に参加する決意を述べ、地域で目標を決め署名に取り組んでい



ることを報告し、多くの参加者が拍手を送りました。

午後から、高橋信夫さんの案内で戦争当時、馬のえさや缶詰牛肉の缶詰をつくっていた工場の跡地、日赤病院の被爆建物の一部がモニユメントになっている所を見学し、説明を聞きました。

広島は、戦争中、兵站の役割を果たし、各地から来た兵士や馬、食料を中国に輸送した軍港でした。食糧廠では食料の生産が間に合わず、前線では兵士に現地調達を行わせ、中国人から食料などを奪い、焼きつくす、殺しつくすという三光作戦を行ったとの説明を受けました。

また、日赤病院の病室の壁・窓のモニユメントでは、原爆による爆風がすさまじいものであることが説明されました。

「介護をよくする」 要望書提出

8月8日、介護をよくする会（準備会）の世話人黒木文生枝さんをはじめ14人は羽田皓市長に要望書を提出しました。

対応した藤井長寿社会応援部長に、ケアマネージャー、介護福祉士、町内会の福祉役員の方などが要望項目に沿って質問しました。

要望項目は5点です。

①医療、介護総合の廃止撤回を国に要望すること。

②新制度になっても、要支援の方たちが質の高いサービスを受けられるようにすること。

③新事業の報酬単価が引き下げれば事業所の継続が困難になり、労働者の賃金、労働条件が後退する恐れがある。最低でも現在の報酬単価となるよう福山市として独自の予算措置をすること。

④地域包括ケアを実践するうえで行政の役割は重要です。地域包括支援センター、町内会、ボランティア、NPOなどだけに負担を押し付けることなく、行政の役割を果たすこと。

⑤新事業への意見、要望を広く取り上げること。また介護をよくするため、引き続き要請に応じてほしいことなどを求めました。

藤井部長は、①について、白紙にすることはできない。

②について、サービス体系はどうあるべきか検討している。

③について、報酬については、国の動向を見ながら、供給、援助金などのバランスをみる中でやっていきたい。

④について、市行政の支援はこれから決める事になる。要支援について、町内会、ボランティア、NPOに任せるとはできない。地域支援事業でもできるし、ボランティアNPO、町内会でもできるという事です。

⑤について、今後、要望があれば応じ、こうした場合も設けると答えました。



9月議会の日程です

高木たけし、河村ひろ子市議が一般質問、企業会計決算特別委員会を担当して行います。

多くの方の傍聴をお待ちしております。よろしくお願いいたします。

8月25日(月)10:00～
各常任委員会

9月2日(火)10:00～
本会議

8日(月)～11日(木)
10:00～
本会議

12日(金)10:00～
各常任委員会

16日(火)17日(水)10:00～
予算特別委員会

19日(金)13:00～
本会議

22日(月)24日(火)25日(水)
10:00～
企業会計決算特別委員会